

背景・目的

旭川市が道内の主要産地であるパセリは、気温の上昇に伴う暑さ対策や葉品質の低下、うどんこ病の発生が課題となっています。そのため、基幹品種‘グランド’と他品種の比較栽培を行い、当地に適合する品種を検討しました。

結果

・調査期間：3/10（播種日）～9/21（収穫終了日）

収穫は、おおむね2週間に1回としました。

うどんこ病の予防として、収穫開始2週間後からおおむね1週間に1回、予防剤を散布しました。

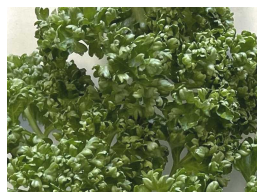
品種名	収穫開始日	調製後収量 (kg/10a)	葉縮 (指数)	うどんこ病	
				初発日	発病葉率 (%)
グランド(基幹品種)	6/29(111)	3,335	3.1	—	0.0
エンリッチ	6/29(111)	2,936	3.1	9/21	0.2
けさお	6/29(111)	2,867	3.1	—	0.0
瀬戸パラマウント	6/23(105)	2,761	2.6	9/12	0.7
カーリ・パラマウント	6/23(105)	3,368	2.1	9/2	7.9
グリーンカール	7/11(123)	1,968	3.2	9/21	0.2
四海波	6/23(105)	3,179	2.8	8/31	1.4

※（ ）内の数字は、播種日からの日数

※葉縮は4段階評価（強い:4, やや強い:3, やや弱い:2, 弱い:1）

※発病葉率は、収穫葉数に占める、うどんこ病の発病が見られた葉の割合

グランド



うどんこ病
発病葉



エンリッチ



けさお



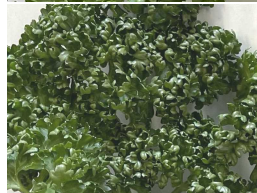
瀬戸
パラマウント



カーリ・
パラマウント



グリーン
カール



四海波



結果の活かし方

収量・葉縮・うどんこ病発生状況を勘案した結果、基幹品種である、‘グランド’が当地での栽培に最も適合する品種でした。